



# YMIWORLD

強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う

ワイズメンズクラブ国際協会

2026年7月



今年のブルーミュージックの戦略は、歴史上最も象徴的な指導者や先見の明のある人物たちに触発され、クラブ会員が善意を行動に移すことを奨励するものです。

写真：2026年3月にバリで開催された国際次期理事サミットにおいて、「ブルー・ミュージック」の精神を体現するためのロールプレイが行われました。参加者は偉人たちのマスクを被っています。

# 目次

ページ

<b>国際会長メッセージ</b> ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク 国際会長	3
<b>ブルーミュージック物語：善意の行動</b>	3
<b>国際本部ニュース</b> ジョース・ヴァルギース 国際書記長	5
<b>国連デー</b>	6
<b>PR</b> アンディ・フー PR国際事業主任	7
<b>インパクトコミュニケーション</b> アベイ・ジョン インパクトコミュニケーション・タスクフォース委員長	8
<b>YMIリソースのリマインダー</b> マニュアル改訂委員会	10
<b>アフリカ地域ニュース</b> ジョウン・マティ アフリカ地域ニュース編集者	11
<b>アジア太平洋地域ニュース</b> 利根川恵子 アジア太平洋地域ニュース編集者	14
<b>カナダ/カリブ海諸国地域</b> ヴィノッド・ジョン カナダ/カリブ海諸国地域ニュース編集者	16
<b>ヨーロッパ地域ニュース</b> ビルジット・ジェイコブセン ヨーロッパ地域ニュース編集者	17
<b>インド地域ニュース</b> ジョセフ・ヴァルギース インド地域ニュース編集者	19
<b>韓国地域ニュース</b> キム・ジンク 韓国地域ニュース編集者	23
<b>神の国と天の国</b> ヴィリー・モルゴー キリスト教強調国際事業主任	24
<b>IYC 2026の登録受付が開始されました</b>	24

## 編集長から

YMI ワールドに関するご意見やアイデアを共有するには、編集長までご連絡ください。

8月は

将来計画：戦略2032  
の強調月間です。

インパクトのあるストーリーを投稿するには、以下ををクリックしてください。  
締め切り：2026年7月15日。

[編集長へ](#)



# ブルーミュージック

国際会長 ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク



## 2026/27年の国際会長主題

### ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる

私が国際会長に就任したのは7月1日です。すでに皆さんの多くを苛立たせたり、不満にさせたり、あるいは、少なくとも少しは、好奇心を刺激したでしょうか？

私がブルーミュージックについて話すことは、多くの方にとって大きな驚きかもしれません。なぜ私がこんなことをするのか？

まず第一に、私は比喩表現を使うのが大好きです。比喩はシンボルのようなものです。「ブルーミュージック」は、音楽とは何の関係もなく、価値観と深く結びついています。「ブルーミュージック」は「グレーミュージック」の対義語です。「グレーミュージック」は戦争、暴力、憎悪、差別といった、私たちが戦いたいあらゆる悪の音楽です。

世の中の状況や、周りで耳にする暗い雰囲気、憂鬱な気分が目覚める日もあります。そんな時、ブルーミュージックを耳にすると、顔に笑顔が戻ります。暴君や独裁者が恐れるのは、善良な人間だけだということをおぼろげに思い出します。マハトマ・ガンジーは、まさにそんな善良な人でした。彼は、当時の最強の軍事力に立ち向かい、ただ善意だけを武器に勝利を収めました。マーティン・ルーサー・キング・ジュニアは、黒人の兄弟姉妹のために新たな時代を切り開き、その武器は、ただ善意だけでした。ネルソン・マンデラは、流血なしに新たな南アフリカを築き上げ、その武器もただ善意だけでした。彼らは、ブルーミュージックの象徴であり英雄です。彼らは、私たちの仲間です。私たちは、ブルーミュージックの家族の一員です。なぜなら、私たちは、この世界に善意を運ぶ者だからです。

私たちは、手に持った善意だけを武器に、グレーミュージックとも戦います。ブルーミュージックは、YMIのすべての価値観、私たちの運動の基盤となる価値観の象徴です。私たちは、ただ、自分の中のブルーミュージックに耳を傾けるだけで、新しい現実、新しい答え、新しい解決策に目覚めるでしょう。この世界にもっと善をもたらすためには、私たち自身が変わらなければなりません。私は、私たちができる小さな善行すべてを信じています。それこそが世界を前進させ、より良い世界へと変えていくのです。

ブルーミュージックに苛立ちや不満を感じたり、あるいは単に興味を持ったりしたとしても、その苛立ちや好奇心が消え去る前から、あなたは、既にそのビジョンの奥深くへと足を踏み入れているのです。だからこそ、私は比喩やシンボルを用いるのが好きなのです。ブルーミュージックは、あらゆる言語、あらゆる文化に通用します。なぜなら、ブルーミュージックにおける最大の価値は自由だからです。それは、あなたにとってブルーミュージックが何を意味するのかを定義する自由です。それは、あなたの文化の中であなたにとって最も重要な価値観を探し求める自由です。ですから、あなたは、私たちの運動における変化の担い手となるのです。あなたは、友人たちと集まって、変化がどこへ向かうのかを話し合うためのキャンプファイヤーを企画することが期待されています。結論に達したら、ぜひ動画や写真、そして結論を私たちと共有してください。そうすれば、私たちもあなたから学ぶことができます。

こうして私たちは、知識とアイデア、そして勇気ある変革という宝庫を築き上げ、それは、私たち全員にとって有益なものとなるでしょう！

# 国際会長スローガン 人生を力づける

人生を力づけるとは、すべての人の中に価値を見出すこと、特に世間が弱点とみなすところにこそ価値を見出すことです。それは、単なる慈善ではなく仲間意識を、哀れみではなく尊厳を、同情ではなく機会を与えることを意味します。現代人にとって最大の課題は、孤独です。友人の仲間がいれば、一緒に笑い、微笑み、力と勇気を見出す場所があります。しかし、一人では問題を抱え込む力はなく、崩れ落ちてしまいます。だからこそ、YMIが特に高齢者に与えることができる最大の恵みは、仲間意識と友情なのです。

ブルーミュージックに触発され、この孤独な世界に善意の福音を広めましょう！

## ブルーミュージック・ストーリー 善行の実践

2026年2月、国際会長に選出されたヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク、国際書記長のジョース・ヴァルギースおよびインド地域の指導者らが、ケララ州ティルヴァッラにあるヴィカスYMCA特別支援学校（障がい児のための学校）を訪問しました。

訪問中、学校側は、生徒を安全に輸送するための新しいスクールバスを切実に要望しました。この要望は、訪問した指導者たちの心を深く揺さぶり、その後、チェンナイのマドラスYMCAで開催されたインド地域次期理事、次期部長研修プログラムで紹介されました。

ブルーミュージックの精神、すなわち思いやりを行動に移す精神に触発され、マドラスYMCAとともに、10人のワイズメンリーダーが即座に行動を起こしました。彼らの寛大さと献身的な努力により、2万2,000米ドルが集まり、子どもたちのための新しいスクールバスを購入することが可能になりました。



2026年6月28日、その夢が現実となりました。第39回インド地域大会の開会式の一環として、400名を超える参加者、YMCAのリーダー、地元の要人、そして代表者協議会メンバーの立ち会いのもと、新しいバスがヴィカスYMCA特別支援学校に正式に引き渡されました。

子どもたちの笑顔と家族の感謝の気持ちは、真のリーダーシップは言葉ではなく、人々の人生を変えるような親切な行為によって測られるということを力強く思い出させてくれました。

これこそがブルーミュージックの真髄——集団行動を通して表現される善意、希望を喚起し、永続的な影響を生み出す力。思いやりのある心が一つになると、普通の人々が非凡なことを成し遂げ、私たちの運動の中に眠る善意という巨人を目覚めさせるのです。



# 国際本部ニュース

国際書記長

ジョース・ヴァルギース

## 眠れる巨人を目覚めさせる

2026年7月1日、ワイズsの新たな年度が始まります。新たな希望、新たな決意、そしてワイズメンズクラブ国際協会の未来への刺激的なビジョンがもたらされます。今年、ブルーミュージックを通して変革の旅に出よう招かれています。ブルーミュージックは、私たちの運動の中に眠る巨人を目覚めさせるようと、すべてのメンバーに呼びかけるビジョンです。ブルーミュージックは、単なるテーマではなく、目的意識を持って生き、善行を实践し、仲間意識を強め、地域社会や世界中でより大きなポジティブな変化をもたらす力となるよう、私たちを鼓舞する生き方そのものです。

新年を迎えるにあたり、ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク国際会長と国際リーダーシップチームの皆さんに心からお祝い申し上げます。また、リーダーシップの責任を引き受けてくれた地域会長、区理事、部長、クラブ会長、委員会委員長、そして会員のさんにも、心からの祝福をお送りいたします。皆さんの奉仕の精神が、私たちの組織の未来を形作ることでしょう。この1年が、知恵、団結、革新、そして意義深い奉仕に満ちたものとなるよう、お祈り申し上げます。

新年を迎えるにあたり、2025年から2026年にかけて私たちの活動を忠実に導いてくれたリーダーの皆さんに心からの感謝を申し上げます。エドワード・オン直前国際会長氏の卓越したリーダーシップのもとワイズメンズクラブ国際協会は、世界的な連帯を強化し、YMCAとのパートナーシップを深め、地域社会への奉仕活動を拡大し、今後の発展に向けて組織を準備してきました。組織のあらゆるレベルのリーダーの皆さんの献身、犠牲、そして尽力に感謝いたします。皆さんの奉仕によって築かれた強固な基盤の上に、私たちは今、新たな発展を遂げています。

2025/26年度は、6月をもって目覚ましい活力と成果で幕を閉じました。インド各地で、会員の皆さんがインド地域大会および複数の区大会に集まり、親睦を深め、祝賀ムードに包まれました。これは、私たちの運動の活力を改めて示すものでした。特筆すべき成果の一つは、インドで新たなマラリア撲滅プロジェクトが開始されたことです。これは、有意義なパートナーシップと持続可能な地域社会活動を通じて、世界の健康増進に貢献するという私たちの決意を改めて示すものです。

もう一つ印象深い出来事は、ケララ州ティルヴァッラにあるヴィカスYMCA特別支援学校に新しいスクールバスが正式に引き渡されたことです。ワイズメンズクラブ国際協会とマドラスYMCAの寛大な支援により購入されたこのバスは、知的障がいを持つ子どもたちに安全な通学手段を提供するとともに、思いやりが行動に移されたときに何が達成できるかを力強く示すものとなっています。

将来を見据えたリーダー育成にも引き続き優先事項として取り組んでいます。6月には、新たに任命された国際事業主任と委員会委員長が、包括的なオリエンテーションと研修プログラムに参加しました。この勢いを活かし、YMIの新年度は7月1日に、国際会長ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィクとキリスト教強調国際事業主任のヴィリー・モルゴーが進行役を務めるオンライン国際リーダーシップ・リトリートで正式にスタートします。この集まりでは、1年間の活動を神に捧げ、リーダー間の関係を強化し、共通のビジョンと優先事項に基づいて組織を統一していきます。

当組織の国際的な存在感も拡大を続けています。YMCA世界評議会開催期間中、国際会長のヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク、YMIのYMCA担当リエゾンであるフィリップス・チェリアン、そして国際書記長の私が、特別なプレゼンテーションと展示ブースを通してワイズメンズクラブ国際協会を代表し、世界的な親睦、奉仕活動、そしてYMCA運動との長年にわたるパートナーシップを紹介します。

一方、マレーシアのペナンで開催される第75回国際大会への期待は高まり続けています。現在までに475名以上の参加者が登録を済ませています。登録締め切りは2026年7月31日ですので、まだ登録されていない方はお早めにお申し込みください。また、国際ユースコンボケーションへの登録も引き続き受け付けております。この大会は、若いメンバーがリーダーシップを育成し、国際的な友情を築き、私たちの運動の未来を形作る絶好の機会となるでしょう。

新たな年を迎えるにあたり、ブルーミュージックのビジョンを心に刻みましょう。ワイズメンズクラブ国際協会の中に眠る巨人を目覚めさせ、信念、愛、そして行動を通して、人生を豊かにし、希望を与え、世界を変革する運動を築き続けましょう。



## 7月18日：ネルソン・マンデラ 国際デー

7月18日に世界中で祝われるネルソン・マンデラ国際デーは、国連が認めた行動喚起の日であり、ネルソン・マンデラの生涯と功績、そして「変化を起こすのはあなた自身の手の中にある」という彼の信念を称えるものです。世界中の人々が、少なくとも67分間の意義ある奉仕活動を行うよう呼びかけられています。これは、マンデラが正義、人権、そして尊厳のための闘いに捧げた67年間を象徴するものです。

ネルソン・マンデラ国際デーは、偉大な指導者を称えるだけでなく、一人ひとりがより公正で平等、そして包容的な世界を築く力と責任を持っていることを改めて認識させてくれる日です。貧困、不平等、教育、地域開発、そして和解といった課題に取り組むための具体的な行動を促します。このようにして、追悼は、参加へと繋がり、インスピレーションは、真の影響力へと結びつくのです。

ワイズメンズクラブ国際協会にとって、このメッセージは、ヨハン国際会長の「ブルーミュージック」と深く結びついています。ブルーミュージックとは、善意が精神だけでなく行動によっても表現されるときに生まれる調和のビジョンです。ヨハン国際会長にとって個人的なインスピレーションの源であるネルソン・マンデラの遺産は、善意は、実践されなければならないことを私たちに思い出させてくれます。

マンデラの遺産を称え、ブルーミュージックに命を吹き込みましょう。ブルーミュージックとは、他者を励まし、コミュニティを強化する意義深い行動を通して、心の善意を表現することです。マンデラが言ったように、「破壊し、壊すことは容易だ。真の英雄は、平和を築き、築き上げる人々だ」。私たちも善の英雄となり、すべての人にとってより良い世界を築きましょう。

このセクションでは、YMIの価値観と使命に共鳴する国連記念日をご紹介します。国連記念日の全リストと詳細については、国連の公式カレンダーをご覧ください。



## PR

アンディ・フー PR国際事業主任



時が経つのは早いものです。ワイズメンズクラブ国際協会の新たな年度（2026～2027年）がまもなく始まります。この年度は7月1日から翌年6月30日までです。6月はPT・コミュニケーション活動の重点月間であるため、次期PR国際事業主任（ISD PR）として、YMIワールド誌への寄稿を依頼されました。これは、今後1年間の私のビジョンと活動計画を共有する絶好の機会です。

YMIは、アフリカ、アジア太平洋、カナダ/カリブ海諸国、ヨーロッパ、インド、韓国、ラテンアメリカ、米国の8つの地域に分かれており、YMIクラブは、世界中の数多くの都市や国に展開しています。それぞれの地域には独自の文化、言語、優先事項がありますが、私たちは皆、YMIの理念を共有し、長年の協力パートナーであるYMCAと手を取り合って、地域社会に貢献し、支援を必要とする人々のニーズを満たすために活動しています。

ISD PRとして日々の業務を行う中で、YMIグループとの交流、情報収集、最新情報の共有にはオンラインメディアを多用しています。私の経験から、Facebookが最も便利で適切なプラットフォームであり、広く利用されています。しかし、地域によって言語や交流の度合いが異なるため、コミュニケーションには依然として大きな課題が残っています。とはいえ、進歩も見られます。YMIメンバーのFacebook利用は増加傾向にあり、投稿を共有する意欲も高まっています。

各地域のYMIリーダーの支援を得て、メディアを活用した交流をさらに推進し、すべての地域で情報を共有できることを願っています。

もちろん、オンラインでの活動を強化することに加え、時間と状況が許す限り、YMIの様々なイベントや大会に直接参加したいと考えています。これには、2026年の国際大会、そして地域大会や区大会も含まれます。これらの機会は、普段なかなか直接会うことのできないリーダーやクラブの仲間と出会い、地元のYMI活動の最新動向を学び、組織を一つに結びつける親睦と友情の絆を深める貴重な機会となります。

最後に、2026年9月10日から13日までマレーシアのペナンで開催される国際大会（IC2026、ペナン）でお会いできることを楽しみにしています。



Facebook



インスタグラム



YouTube



Webサイト

最新情報については、ワイズメンズクラブ国際協会のソーシャルメディアアカウントをフォローしてください！



## インパクトコミュニケーション

奉仕の精神を広め、世界にインスピレーションを与える

アベイ・ジョン インパクトコミュニケーション・タスクフォース委員長

奉仕活動には、人生を変える力があります。ワイズメンズクラブ国際協会のクラブが取り組むすべてのプロジェクトは、思いやり、リーダーシップ、そしてより良い世界を築くための献身を反映しています。しかし、これらの活動が効果的に伝えられなければ、その影響は、直接体験した人々とどまってしまうことがよくあります。今日の相互につながった世界では、奉仕活動を伝える能力は、奉仕活動そのものと同じくらい重要です。

戦略2032の目標達成には、情報提供だけでなく、人々にインスピレーションを与え、影響を与え、グローバルなアイデンティティを強化するための効果的なコミュニケーションが不可欠です。コミュニケーションは、もはや、出来事を事後に記録するだけの事務的な機能ではありません。それは、信頼を築き、コミュニティを巻き込み、将来のメンバーを惹きつけ、パートナーシップを強化し、急速に変化する世界において私たちの使命の重要性を示すための強力な手段となっています。

デジタル時代は、人々のつながり方や関わり方を根本的に変えました。今日では、心に響く写真、短い動画、感動的な証言、あるいは丁寧に書かれた記事は、瞬時に地理的な境界を超え、身近な人々の輪をはるかに超えた人々に届きます。これは、クラブ、地域、区が日々行っている素晴らしい活動を紹介するとともに、私たちの運動を特徴づける奉仕と仲間意識の価値観を他の人々に受け入れてもらうための、かつてない機会となります。

しかし、認知度を高めるだけでは十分ではありません。私たちのコミュニケーションは、一貫性があり、誠実で、私たちの理念に沿ったものでなければなりません。ニュースレター、ウェブサイトの更新、ソーシャルメディアへの投稿、動画、プレゼンテーション、プレスリリースなど、あらゆるものがワイズメンズクラブ国際協会のグローバルなイメージ形成に貢献します。私たちのメッセージが共通の目的、一貫したビジュアルアイデンティティ、そして共有された価値観を反映しているとき、私たちは、信頼性を高め、YMIブランドをあらゆる場所で強化することができます。



この戦略における重要な取り組みの一つは、包括的なコミュニケーションツールキットの開発です。この実用的なリソースは、クラブや地域にテンプレート、ブランド基準、ストーリーテリングのテクニック、ソーシャルメディアのガイダンス、デジタルコミュニケーションのベストプラクティスを提供します。目的は、単に均一性を作り出すことではなく、規模や所在地に関わらず、すべてのクラブがワイズメンズクラブ国際協会の独自のアイデンティティを反映しながら、プロフェッショナルかつ自信を持って効果的にコミュニケーションをとれるようにすることです。

同様に重要なのは、見過ごされがちな素晴らしいストーリーを発掘し、共有することに尽力することです。私たちの活動には、青少年育成、地域奉仕、災害救援、環境保護活動、国際協力、YMCAへの支援などを通じて、メンバーが人々の人生を変えてきた事例が数え切れないほどあります。これらは、希望、回復力、寛大さ、そしてリーダーシップの物語です。毎月、世界中から少なくとも2つの影響力のある物語を意図的に選び出し、共有することで、相互学習の機会を創出し、クラブ間のイノベーションを促進し、グローバルな仲間意識の結束力を示すことができます。

効果的なコミュニケーションには、話すことと同じくらい聞くことも重要です。デジタルプレゼンスをモニターし、オーディエンスがコンテンツにどのように反応しているかを理解することで、より効果的なコミュニケーションが可能になります。さまざまなオーディエンスに響くものを学ぶことで、メッセージを継続的に改善し、リーチを拡大し、デジタルプラットフォームを通じて組織を知る機会が増えている若い世代にとって、常に魅力的な存在であり続けることができます。

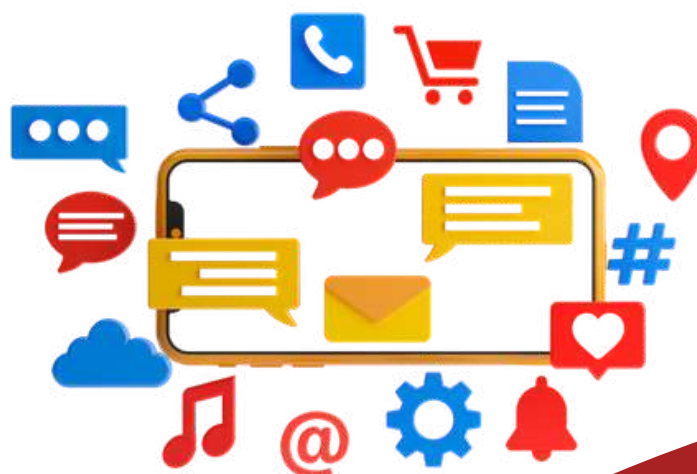
ブランドは、私たちの最大の財産の一つです。ブランドガイドラインを定期的に見直し、更新することで、ビジュアルアイデンティティ、言葉遣い、メッセージングを常に最新の状態に保ちつつ、1世紀以上にわたりYMIを導いてきた伝統と価値観を維持していきます。強力で認知度の高いブランドは、会員、パートナー、寄付者、そして地域社会の信頼を築きます。

結局のところ、コミュニケーションとは人に関わるものです。一枚一枚の写真の背後には、人生が一変した人々の姿があります。プロジェクト報告書の背後には、惜しみなく貢献したボランティアの存在があります。統計データの背後には、希望が回復した物語があります。私たちの責任は、これらの物語が真実味、尊厳、そして卓越した表現力をもって伝えられるようにすることです。

ワイズメンズクラブ国際協会のメンバーとして、私たちは、一人ひとりが奉仕の精神を持つリーダーであると同時に、物語を語る者でもあります。クラブの会合、奉仕活動、親睦会、そしてあらゆるパートナーシップは、私たちの目的を世界に伝える機会となります。革新的なツールを活用し、成功を祝い、一貫したグローバルな声を発信し、私たちの共同奉仕がもたらす計り知れない影響を誇りを持って共有していきましょう。

私たちが使命を明確に、情熱的に、そして明確な目的意識を持って伝えるとき、私たちは、単に達成したことを報告する以上のことを成し遂げます。それは、より良い世界を築くために、他の人々が私たちに加わるよう促すことです。YMIのすべての物語は、共通の目的によって結ばれた普通の人々が、並外れた変化を生み出すことができるという証です。

ですから、私たちは、思いやりをもって奉仕するだけでなく、卓越したコミュニケーションにも力を注ぎましょう。私たちが共有するすべての物語は、私たちの仲間意識を強め、YMIのブランド価値を高め、1世紀以上にわたり人々の人生を変えてきたこの運動に、他の人々が参加するよう促します。共に力を合わせ、ワイズメンズクラブ国際協会の声が、その奉仕活動と同じくらい大きな影響力を持つようにしましょう。



# YMIリソースのリマインダー

## 毎月の最新情報

### マニュアル改訂委員会から

マニュアル改訂委員会（MRC）は、YMIのマニュアルとポリシーが常に最新かつ実用的で、運動のニーズに合致していることを保証することを務めとしています。過去1年間で、11の文書が改訂されました。この継続的な取り組みの一環として、またヨハン国際会長のブルーミュージックチャレンジを支援するため、MRCは、YMIのウェブサイトで公開されている最新のアップデートの一部をご紹介できることを嬉しく思います。

#### 新しいPRマニュアルがオンラインで公開されました

広報（PR）マニュアルの改訂作業が完了しました。その結果、より洗練された、効率的なアプローチが実現しました。改訂版のPRマニュアルは2種類あり、1つはクラブリーダー向け、もう1つはエリア、区、部のPR事業主任向けです。これらのマニュアルは代表者協議会で承認されており、皆さまにご利用いただけます。

なぜこれらのPRマニュアルを見る必要があるのでしょうか？

あなたのクラブ、エリア、区、または部は、以下のことを望んでいますか？

- あなたが行っている素晴らしい活動と、YMIの使命である全ての人にとってより良い世界を築くことの実現に及ぼす影響を紹介する。
- 新規会員を獲得し、会員のエンゲージメントを強化する。
- 今後のイベントの認知度と参加率を高める。
- 認知度と信頼性を高め、地域パートナー、スポンサー、支援者を引き付ける。

これらのマニュアルは、効果的に情報を発信するのに役立つ実践的なヒントと明確なガイダンスを提供します。また、あなたが伝えたい相手に響くような方法で、あなたのストーリーを伝える方法についてのアドバイスも掲載されています。

YMIのウェブサイトアクセスして、更新されたPRマニュアルと新しいクラブ向けPRマニュアルをご覧ください。これらは、皆さんの成功を支援するために用意されています。ぜひ最大限にご活用ください。

**どうぞお楽しみください。来月のニュースもお楽しみに。**

#### YMIダウンロードを詳しく見てみましょう。

ワイズメンズクラブ国際協会のウェブサイトには、豊富なリソースが用意されています。上部のメニューバーにある「ダウンロード」をクリックするだけで、マニュアル、ポリシー、パンフレット、プロモーション資料、テンプレートなど、さまざまな資料にアクセスできます。すべてカテゴリ別に整理されているので、必要なものをすばやく見つけることができます。

## ナイジェリア部がラゴスのキングス・カレッジを訪問

2026年6月8日、ナイジェリア部は、ラゴスのキングス・カレッジを表敬訪問し、マガジ・ザカリア・チェイ校長から温かい歓迎を受けました。代表団は、アデバヨ・アルモソイ部長が率い、前地域会長のビクター・ディリ・ジャタウ、地域書記のサンデー・A・M・バデジョ、地域会計のケヒンデ・アデオイが同行しました。



今回の訪問における重要なハイライトは、人道に対する卓越した貢献を称え、チェイ校長に2026年人道奉仕メダルを授与したことです。ジャタウ前地域会長は、学校の上級管理職が見守る中、チェイ校長に正式にメダルを授与し、ガラス製の表彰盾も贈呈しました。

部長は、キングス・カレッジとワイズメンズクラブ国際協会ナイジェリア部との連携強化、特に青少年育成と地域社会への貢献という共通の目標に向けた協力関係の構築の可能性を強調しました。これに対し、チェイ校長は、自身は「ささやかな貢献」をしたに過ぎないと述べ、この荣誉に感謝の意を表し、今後、同校とその生徒たちに恩恵をもたらすワイズメンズクラブ国際協会の取り組みを支援することを約束しました。

## ナイロビワイズメンズクラブ、親睦を通じて会員数の増加を記録



ナイロビワイズメンズクラブは、今年初めに実施した会員募集活動の成功を受け、会員数が著しく増加したと報告しました。2026年5月21日、同クラブは、新たに20名の会員を迎え入れました。クラブのリーダーたちは、この増加は口コミによる継続的な情報発信、入会希望者を会合や親睦活動に歓迎する姿勢、そして地域社会に良い影響を与えている継続的な地域奉仕活動の成果によるものだと考えています。

会員間の絆を深めるため、クラブは2026年6月13日にグレート・リフト・バレーのエレメンテイタへの一泊旅行を企画し、新入会員を含む30名以上の会員が参加しました。このイベントでは、グレート・リフト・バレーの景観鑑賞、テーブルマウンテンのハイキング、地域住民が管理する温泉への訪問といったアクティビティを通して、親睦、ネットワーク構築、チームビルディングを促進しました。最後は、焚き火を囲み、物語を語り合い、焼きトウモロコシや肉を食べ、ダンスを楽しみ、親睦と成長を続けるワイズ運動へのクラブの取り組みを改めて示すものとなりました。

## ナイロビ・メトロYサービスクラブが、特別支援を必要とする生徒を支援するため洗濯機を寄贈

ナイロビ・メトロYサービスクラブは、地域社会への奉仕と思いやりのあるケアへの取り組みを示すため、2026年6月6日にンデンデルにあるグレイシャス・ステップス特別支援学校で支援活動を実施しました。精神疾患や特別なニーズを持つ子どもたちを支援するこの学校は、寄宿生のための衛生基準を維持する上で大きな課題を抱えています。



これに対し、クラブは、資源を動員し、衣類や寝具、その他の必需品の洗濯を支援するため、自動洗濯機を寄贈するという実用的な解決策を提供しました。

引き継ぎ式典で、会員たちは、意義ある奉仕活動を通して社会的弱者を支援するという決意を改めて表明しました。この取り組みは、クラブが地域社会の喫緊のニーズに対応するために計画している数多くの活動の第一歩となるものでした。

## 受賞歴のある出版コーチがメンタルヘルス啓発月間に表彰される

出版コーチ兼リーダーシップメンターのベンソン・カスーティが、メンタルヘルス啓発月間の一環として、2026年5月23日にケニアYWCA本部で開催された健全メンタルヘルス賞授賞式の中で授与された「ライティング・ライト・ナ・ケニア賞」において、2026年度最優秀出版コーチに選ばれました。

受賞後、ベンソンは、長年にわたり指導してきた多くの作家志望者への感謝の意を表し、今回の受賞は、困難を乗り越え、自信を築き、自らの物語を形にした新進作家たちの決意の表れだと述べた。さらに、完成した原稿一つひとつと、粘り強く努力を続けた作家たちの努力が、今回の成果に貢献したと付け加えました。



GOLD 2.0プログラムの国際事業主任として、彼は、執筆活動、リーダーシップ育成、自己啓発といった取り組みを通して、社会に良い影響を与える自信に満ちた価値観を持った人材の育成を支援し続けています。彼は、作家志望者に対し、プロセスを信じ、成長を受け入れ、自信と決意を持って執筆の道を歩むよう励ましています。

## 内省、感謝、奉仕の交わり



カカメガYサービスクラブは、2026年5月29日～30日、エスター・ムバアブ部長を迎え、会員間の奉仕、リーダーシップ、キリスト教的価値観の強化を目的とした親睦訪問が行われました。訪問は、キリスト教強調事業主任のステーブン・マクーによる説教で始まり、マクーは、聖書の教えである「神は忠実さに報い、正義を貫く」という言葉を引用し、人生の様々な困難を通して忠実で揺るぎない信仰を持ち続けるよう会員に促しました。

注目すべき点の一つは、ムバアブ部長による「感謝は良いメンタルヘルス習慣である」というテーマのプレゼンテーションでした。彼女は、参加者に対し、挫折ではなく恵みや良い経験に焦点を当てるよう促し、感謝の気持ちは、特に困難な時期において、精神的な健康を支えるものだと指摘しました。

2日目、部長は、クラブ会長のアーノルド・マギナとYMCAのウィニー・ムクワナを伴い、トゥマイニ村のサトウキビ畑を視察し、美しい田園風景を楽しみながら親睦を深めました。

## キスムワイズユースクラブがコンデレ学校で世界月経衛生デーを記念



キスムワイズユースクラブは、2026年5月29日にキスム郡コンデレ学校でアウトリーチおよびメンターシッププログラムを開催し、世界月経衛生デーを記念する国際社会の活動に参加しました。このイベントは、月経衛生に関する意識向上、月経に関する偏見の払拭、そして若い女子たちが月経の健康を尊厳をもって管理するための知識と自信を身につけることを目的としていました。また、この取り組みは、思春期の健康に関するオープンな対話のための安全な場も提供しました。

このアウトリーチ活動は、メンタルヘルスの包摂を目指すアウトリーチ活動のメンバーとキスムワイズユースクラブのメンバーが主導するインタラクティブなメンターシップセッションを通じて、約200人の少女に支援を届けることに成功しました。セッションでは特に、メンタルヘルスの意識向上と月経衛生管理に重点が置かれました。

イベントでは、生理用品が配布され、女子生徒たちを支援し、生理用品不足による欠席を減らすことに貢献しました。クラブは、この支援活動を意義深く成功させるために尽力してくれた学校関係者、ボランティア、そしてパートナーに感謝の意を表しました。

## ナイロビシティYサービスクラブがジャカラнда特別支援学校にマットレスを届ける

ナイロビシティYサービスクラブは、ディスマス・ワンボラ会長のリーダーシップの下、2026年6月13日にジャカラнда特別支援学校とのパートナーシップの第2段階を成功裏に完了し、防水カバー付きのマットレス25個を寄贈しました。

この取り組みは、2025年9月に始まりました。メンバーが学校を訪問した際、キングリ副校長から、120人の生徒のために新設された寮で深刻なマットレス不足が発生していることを知らされました。既存のマットレスは防水加工が不十分なために劣化しており、特別な支援を必要とする生徒にとって不衛生な睡眠環境となっていました。

これに対し、クラブは、持続可能な解決策を提供することを決定し、仕様に合わせて特注したマットレス25個を調達し、ブランドロゴ入りの防水カバーを取り付けました。この寄贈は、生徒、教師、職員に温かく迎えられ、歌や祈りを通して感謝の意が表されました。学校はまた、会員たちに「ジャカラндаの友」という名誉称号を授与しました。

この活動は、親睦会で締めくくられ、学習者の福祉に焦点を当てた継続的な協力関係が強化されました。



# アジア太平洋地域ニュース

利根川恵子 アジア太平洋地域ニュース編集者

## 東日本区大会

第29回東日本区大会は、14年前に東日本大震災で最も甚大な被害を受けた宮城県石巻市で開催されました。大会プログラムには、津波で児童34人と教師が犠牲となった小学校や、現在も放射能が検出される福島の原子力発電所周辺地域など、震災の影響が残る場所の見学が含まれていました。



## 西日本区大会



2026年6月13日、奈良県奈良市で西日本区大会が開催されました。奈良は、710年に日本の首都となり、奈良時代には日本の政治・文化の中心地として栄えました。大会会場は、奈良市制100周年を記念して建設された奈良県最大のホール「なら100年会館」（磯崎新設計、1999年開館）でした。大会では、田上 正地域会長出席のもと、新理事の就任式が行われました。

中井信一第29代理事が、岡村遍導新理事に理事メダルを引き継ぎました。西日本区は、新理事の下、新たな年度を迎えます。

## 南東アジア区大会

### 新たな国際兄弟クラブ（IBC）が締結されました。

ジョウン・ウォンIBC国際事業主任は、2026年5月24日に香港で開催された南東アジア区大会において、シンガポールベータワイズメンズクラブとインド・中央トラバンコール区のコッタヤムウエストワイズメンズクラブとの間のIBC調印式を主催しました。この式典には、エドワード・オン国際会長、田上 正地域会長、トニー・チャン区理事が立ち会いました。



### シニア会員が表彰されました。

チョウ・ウインピン元地域会長、エドワード・オン国際会長、デビッド・ルア元地域会長、そしてジョン・リム元区理事は、区への多大な貢献と功績、そして長年にわたり区の各地で開催された大会・会議への高い出席率が認められ、区表彰が行われました。



## 台湾区大会



台湾区の第50回区大会には、エドワード・オン国際会長、前田香代子地域書記、アンディ・フー前区理事が出席し、華を添えました。



## チェンマイでのチャリティーコンサートとダンス



チェンマイワイズメンズクラブは、2026年6月13日にロイヤルペニンシュラホテルで2026年チャリティー募金イベント「ハーモニー&ホープ」を成功裏に開催しました。150名を超える参加者、プロの歌手、著名なゲストが集まり、音楽、友情、地域奉仕活動に満ちた楽しい祝典となりました。収益はすべて、チェンライの恵まれない若者や社会的に疎外された若者を支援するクレフリフ&パレットの活動資金として活用されます。

# カナダ/カリブ海諸国地域

ヴィノッド・ジョン カナダ/カリブ海諸国地域ニュース編集者



カナダ、フレデリクトンで開催された第75回マリタイムズ区大会



フレデリクトン・イプシロンYサービスクラブは、今年、フレデリクトンYMCAを数々の重要な取り組みを通して支援しました。クラブは、プールの改修と子供向け水泳プログラムの充実のために7,000カナダドルを寄付し、「子供をキャンプに送ろう」プログラムに10,000カナダドルを寄付しました。

フレデリクトンYMCAへの支援は、今年は特に素晴らしい年となりました。クラブは、秋のチャリティイベント「Cycle for Kids」のスポンサーとして12,000カナダドルを提供しました。これらの貢献は、卓越したCEOであるダーシーのリーダーシップと協力、そしてエリザベス・カーンズの献身的なサポートによって実現しました。



当クラブはまた、フレデリクトン・ロイヤリスト・ラグビークラブが行っている、若いアスリートの育成、チームワーク、スポーツマンシップ、そして健康的なライフスタイルの促進といった素晴らしい活動に貢献できたことを嬉しく思います。

この寄付金は、イプシロンYサービスクラブを代表してスコット・ケナによって贈呈されました。

## クリスチャン・バッハ・イヴェルセン元国際会長の死を悼む

ヨーロッパ地域は、5月26日に88歳で亡くなったクリスチャン・バッハ・イヴェルセン元国際会長の逝去を悼み、デンマーク区とともに哀悼の意を表します。クリスチャンは1967年にアールス・ワイズメンズクラブの創設メンバーとなり、ワイズメンズクラブ国際協会に60年近く尽力しました。

彼は、組織のあらゆるレベルで卓越した功績を残し、デンマークで9つの新しいクラブが設立された1974/75年には区理事を、そして「祈り、そして働け (Ora et Labora)」をテーマにして1979/80年には国際会長を務めました。20回近くに及ぶ国際大会で顔を見せたクリスチャンは、その知恵、リーダーシップ、そして通訳としてしばしば奉仕する姿勢で尊敬を集めていました。

2020年に権威あるハリー・M・バラントイン賞を受賞したクリスチャンは、指導者、友人、そしてワイズメンの歴史に関する生き字引として記憶されています。ご家族とご友人の皆様にご心よりお悔やみ申し上げます。安らかに眠りください。



## 新設のCEEセッション初の会議



2026年5月30日、新たに設立された中央・東ヨーロッパ (CEE) セクションがスロバキアのブラチスラバで初の会議を開催し、歴史的な出来事となりました。このセクションには、スロバキア、ハンガリー、ルーマニア、モルドバ、ブルガリア、アルバニア、コソボの28のクラブが参加しています。

6つの加盟国から約50名の参加者が集まり、デンマークからは区理事のクリスティアン・ヘルムス率いるゲストが参加しました。会議は、セクションディレクターのアンナ・ラシオバと地域会長のイエンス・バイスコフが主催し、地域およびセクションのリーダーたちがサービスイニシアチブや組織開発に焦点を当てたプレゼンテーションを行いました。

重要な焦点は、セクション全体でアイデア、経験、ベストプラクティスを共有し、各国間の協力を強化することでした。イベントは、区の文化的多様性を祝う催しと、1923年に開館したブラチスラバの歴史的なYMCAビルへのガイド付き見学で締めくくられました。

## ルーマニアにおけるプロジェクトの進捗状況

「共に生活スキルを育む」プロジェクトの第2段階が、ルーマニアのピストリツァにあるアブラム・イアंक中学校で最近、完了しました。このプログラムは、生徒たちの非暴力的なコミュニケーション、共感力、感情認識能力の育成に重点を置いています。

生徒たちは、インタラクティブな活動を通して、感情を建設的に表現し、対立を解決する方法を探求し、最後には希望と励ましのメッセージを込めた色とりどりの風船を象徴的に放ちました。

この取り組みの成功は、学校のリーダーシップ、献身的な教師陣、そして地元のボランティアの尽力によって実現しました。デンマーク区の資金援助を受けたこのプロジェクトは、生徒たちが互いを尊重し合う関係を築き、より思いやりのある地域社会に貢献するために必要なツールを提供し続けています。



## デンマーク区大会



デンマーク区は、2日間の区大会をヘアニングで開催しました。「手を差し伸べる」をテーマにしたこの会議には、750名を超える参加者がありました。会議は、区理事のクリスティアン・ヘルムスと、区大会員長委員長兼国際会計のスヴェンド・エリック・ニールセンが主導しました。YMIからは、次期国際会長のヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク氏と国際書記長のジョース・ヴァルギースも参加しました。

## ロシア区大会



ロシア区の区大会が先日、キロフスク市（バレンツ地方）で開催されました。ロシアの全ての部を訪問した経験を持つBF代表のシージャ・アジットとその夫アジット・バブ・Dがこのイベントに参加し、この北部の都市に温かい雰囲気をもたらしました。ロシアからの参加者にとって、自国でこのような真の国際協力を体験できたことは、非常に意義深いものでした。

# インド地域ニュース

ジョセフ・ヴァルギース インド地域ニュース編集者

## 中央トラヴァンコール区

中央トラヴァンコール区の区大会が、アビン・ヴァルキー・コダヤットによってアドゥールで開幕し、その後、家族交流会と表彰式が行われました。このイベントは、区理事のラジェシュ・Vが委員長を務めました。年間を通して優れた業績と貢献をした人々を称え、約150の賞が授与されました。



第4部ではヴェッティムカルワイズメンズクラブが、第2部ではパンダナードワイズメンズクラブがそれぞれ設立されました。これらの新しいクラブは、この地域におけるワイズ運動を強化し、地域社会への奉仕と親睦という使命をさらに推進するものです。

## 中東区

中東区文化祭2025-26は、2026年5月24日にアジュマンで開催され、10のクラブから200名以上の会員が参加しました。総合優勝は、シャルジャワイズメンズクラブで、ニュードバイワイズメンズクラブ、ドバイワイズメンズクラブがそれに続きました。このイベントは、中東区における文化、親睦、そして団結を活気に満ちた形で祝うものでした。



## インド中西区



第39回インド中西区大会およびインド地域の「Y's Fiesta 2026」が、コレンチエリーのペットローズ・イベントセンターで開催され、100のクラブから約1,000名の代表者が参加しました。大会では、区理事のテンシング・ジョージ氏そのチームの就任式が行われました。

式典は直前国際会長のA・シャナヴァスカーンによって開始され、区理事のP・J・クリアチャンが委員長を務め、インド地域会長のバブ・ジョージが就任式を司式しました。サービスプロジェクトはV・P・サジェンドランによって開始されました。

主なハイライトとしては、腎臓ケアおよび透析プロジェクトの開始、記念誌「Y's Caress 2026-27」の発行、そして優れた功績を称える表彰式が挙げられます。また、同地域は3,000万インドルピー（約35万米ドル）の大規模プロジェクトを発表し、2026/27年度中に10の新しいクラブを設立し、10の休眠クラブを復活させ、会員数を20%増加させるという目標を設定しました。

## 北・東・北東インド区



北・東・北東インド区の第4回区大会「ROUPYA 2026」が、2026年6月6日にオリッサ州カタックのYMCA会議場で開催されました。

次期国際会長のV・S・ラダクリシュナンが主賓として出席し、直前国際会長のA・シャナバスカーンが就任式を執り行いました。インド地域書記のジョゼフ・ヴァルギースがゲストとして出席しました。

今回の大会の大きなハイライトは、退任するプラサンナ・クマール・ナンダ区理事の後任として、スラジット・サフが2026/27年度区理事に就任したことでした。特別大会ブリテンが発行され、続いて区表彰の授与式が行われました。大会には区全体からワイズメンのリーダーとメンバーが集まり、奉仕、親睦、リーダーシップへの取り組みを再確認しました。

## 南中央インド区

区理事R・ラジャラクシュミの先見性のあるリーダーシップの下、南中央インド区は、2026年6月7日にバンガロールのコラマンガラで開催された区大会において、「ルネッサンス2026 - 新時代への突入」を発表しました。

「ルネッサンス2026」は、すべての会員が個人的な成長を遂げ、所属するクラブを強化し、社会に持続的な変化をもたらすことを奨励するものです。

彼女のモットーである「奉仕することで成長し、成長することで奉仕する」は、仲間意識、リーダーシップ育成、そして影響力のある地域社会への奉仕に対する新たな決意を反映しています。



ヴィルドゥナガルワイズメンズクラブは、HIV陽性の親から生まれた養子たちに学習教材を配布し、彼らの教育、幸福、そして明るい未来への支援を改めて表明しました。この取り組みは、思いやり、分かち合い、奉仕の精神を反映しており、すべての子どもたちが自信と尊厳を持って夢を追いかけるために必要な支援と励ましを受けられるようにするものです。



第31回ワイズメンIdhayam Naneriコンテストは、スローガン作成、詩作、弁論などの競技会として、幼稚園年少から小学8年生までの児童を対象に開催されました。合計5,329名の児童が参加しました。これはヴィルドゥナガル部における重要な広報活動でした。



## 南インド区



南インド区大会「LAYAM」は、熱意と親睦に満ちた雰囲気の中で開催されました。大会は直前国際会長のA・シャナヴァスカーンによって開会されました。区理事のウニ・M・Kの就任式は、次期国際会長のV・S・ラダクリシュナンによって厳粛に執り行われました。

このイベントには区全体からメンバーが集まり、リーダーシップ、奉仕、そしてワイズメンズクラブ国際協会の精神を称えるとともに、ウニ・M・Kが区理事に就任して新たな章が始まることを記念しました。

マドゥライワイズメンズクラブは、恒久的プロジェクトの一環として、飢餓救済プログラムを通じてハッピーエルダーズ老人ホームを継続的に支援しています。このプロジェクトは、高齢の入居者に栄養価の高い食事と必要な支援を提供し、彼らの健康、尊厳、幸福を確保することを目的としています。



カライクディワイズメンズクラブは、恵まれない子供たちを支援し、彼らの福祉を促進するという取り組みの一環として、サリのパンチャヤット連合小学校の生徒たちに靴を寄贈しました。



## 南西インド区

2026/27年度区理事、J・ジャクマールの就任式が、2026年6月13日、名門スリ・ムラム・クラブで開催されました。就任式は、次期国際会長のV・S・ラダクリシュナンが執り行い、直前国際会長のA・シャナヴァスカーンが開会の挨拶を行いました。式典では、J・ジャクマールがトマス・K・ジョージからリーダーシップのバトンを受け継ぎ、南西インド区における円滑なリーダーシップ移行が実現しました。



このイベントには、ワイズメンのリーダー、YMCAの代表者、そして区全体から集まったメンバーが出席し、就任式を見届けるとともに、新区理事の2026/27年度の成功と成果を祈願しました。



コッラム・パール・パワーワイズウイメンズクラブは、チャタンヌール近郊のカルニャティラム老人ホームで様々な慈善活動を実施しました。会員たちは、高齢者の方々と時間を過ごし、奉仕活動を通して支援を行い、入居者の方々に喜びと安らぎをもたらしました。この活動は、クラブの思いやり、ケア、そして地域社会への貢献に対する強い意志を反映したものです。

区理事プトウッカダイワイズメンズクラブを公式訪問した際、クラブの地域奉仕活動の一環として、困窮している家族に食料品や衣類が配布され、困っている人々への支援とケアが届けられました。



## 西インド区

西インド区大会「シナジー」が、2026年6月14日にカンヌールで盛況のうちに開催されました。同日には、第4回区評議会および区表彰式も行われました。

大会はサニー・ジョセフによって開会されました。フィリップス・チェリアン元国際会計は、2026/27年度の区理事と区チームを任命しました。腎臓病治療に特化したサービスプロジェクトは、アレックス・トーマスによって開始されました。

退任する区理事のフランシス・P・Sは、年間を通して貢献した優秀なメンバーに賞を授与しました。ホスト委員会の委員長である元国際会計のT・M・ジョースのリーダーシップの下、大会は円滑に運営され、区全体のクラブから熱心な参加があり、記憶に残る成功裏のイベントとなりました。



# 韓国地域ニュース

キム・ジンク 韓国地域ニュース編集者

## 韓国プウルギョン区

韓国プウルギョン区は、2026年5月23日にカヤ大学で区大会と2026/27年度区理事就任式を合同で開催しました。ペ・ジョンエ区理事が正式に区理事としての任期を開始しました。メンバーは「現在に情熱を、未来に復興を」という地域ビジョンと、「ワクワクと幸せに満ちたプウルギョン」というスローガンに賛同しました。



## 韓国チョンブク区



チョンブク区は2026年5月22日、ラハンホテル・チョンジュにて2026/27年度区理事就任式を開催しました。キム・ギョンモ理事は「団結したチョンブク、新たな飛躍」という力強いテーマのもと、リーダーシップを引き継ぎました。理事らは、新年度を通して団結を強化し、革新を追求していく決意を表明しました。

## 韓国インチョン区

第6回韓国インチョン区大会および区理事就任式が、2026年6月27日にインチョンYMCAで開催されました。キム・チャンヨウプが新区理事に就任しました。会員は「全力を尽くそう」をスローガンに、エクステンションと奉仕活動の推進に尽力することを誓いました。



## 韓国ジェジュ区



韓国ジェジュ区は、2026年6月6日にメゾン・グラッドジェジュにて区大会および就任式を開催しました。チョン・ジンホ区理事が正式に就任しました。会員は「奉仕、分かち合い、愛し合う一ワイズメンと共に！」をテーマに、奉仕と親睦への決意を新たにしました。

## 韓国西区

韓国西区は、2026年5月30日にコンジュ国立大学エサンキャンパスで区大会および就任式を開催しました。チョン・ムンジャが新区理事に就任しました。大会は「愚かではなく、賢く！」をテーマに、「あらゆる機会を最大限に活かす！」のスローガンのもと、賢明なリーダーシップと効果的な奉仕に焦点を当てました。



# 神の国と天の国

ヴィリー・モルゴー キリスト教強調国際事業主任

神の国と天の国は同じものです。「天の国」という表現は、ユダヤ人が神の名を口にするのをためらう傾向を反映しており、主にユダヤ人に向けて書かれた福音書を書いたユダヤ人であるマタイによってのみ用いられています。神の国とは、物理的な場所や地理的な実体を指すのではなく、むしろ、この世界における神の意志の力を意味します。

**神の国**はイエスの説教における主要な概念です。「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて、福音を信じなさい」と言われた。(マルコ1:15)

イエスはたとえ話を通して、神の国についていくつかの印象を私たちに示しています。

1. 神の国は、祝祭と喜びに満ちている。
2. 神の国は、至る所で、静かに、そしてしばしば気づかれずに広がっていく。
3. 神の国は、この世のものではなく、地上の考え方で定義できるものではない。
4. 神の国は、近づいており、その変革力はイエス・キリストの働きを通して既に現れている。
5. 神の国が完全に実現したとき、この世界は終わる。

神の国は、神のものですが、神が人々に与えたものです。神の国は、神からの賜物であり（ルカ12:32）、同時に、人々が何よりもまず求めるべきものです（マタイ6:33）。

イエスは神の国の開放性を強調して次のように述べました。

「子どもたちを私のところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。」(マルコによる福音書 10:14)

# IYC 26

ペナン、マレーシア  
2026年9月7日～13日

登録料補助制度があります！2026年  
8月7日の申込締め切り前に席を確保  
しましょう。

今すぐ応募しよう！



第20回国際ユースコンボケーション